

年 頭 所 感

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げますとともに、旧年中に賜りましたご厚誼に心より厚く御礼申し上げます。

昨年の我が国経済は、底堅い内外需要を背景とした景気回復が続くなかで極めて順調に推移し、夏から秋にかけては天候不順や自然災害による一時的な下押し要因に直面したものの、その後の復旧、復興需要もあり、戦後の景気拡大期間記録を更新する勢いを維持し、また、年末にかけては2025年に55年振りとなる大阪での万博開催が決定するなど、明るい先行きを示すニュースとともに本年を迎えるに至りました。

他方、国内農業に目を向けますと、生産調整に国が関与することがなくなり、米価の行方がこれまで以上に不透明な時代に入ることとなりました。これを踏まえ、本所では指標価格を発信することを通じて国内農業に寄与することを念頭に、コメ先物市場の発展に向けて種々取り組んで参りました。

特に昨年10月には、市場アクセスの向上による取引の活性化を目指した「ザラバ方式による新取引システム」の稼働、市場流動性を向上させるための「マーケット・メイカー制度」の導入、さらには、コメ先物市場のラインアップの見直しを図り、新たに「秋田こまち」の取引を開始いたしました。

ザラバ方式による新取引システムにつきましては、グローバルスタンダードに即した信頼性の高いものを提供させていただくことにより、市場参加者の利便性が大きく向上したところです。併せて導入しましたマーケット・メイカー制度との相乗効果により、より一層の約定機会の向上や国内外の金融業者をはじめとする新たな取引参加者の裾野を拡大する効果が発揮されるよう努めて参ります。

秋田こまちにつきましては、新潟コシに続く産地特定銘柄として、また流通実態に応じたフレキシブルな受渡制度を備える新たなアイテムとして、産地の生産者や集荷業者をはじめとする当業者の皆様方にお役に立てるものと確信しているところです。

本年は、こうした新たな挑戦の芽を育み、将来のコメ先物の発展の礎とする重要な年となることを胸に刻みつつ、引き続き、当業者の皆様方にコメ先物取引の具体的な活用方法をご提案するとともに、受託会員の皆様方と手を携えまして、投資家層に響くプロモート活動を積極的に展開して参ります。

とりわけ、8月にはコメ先物取引における試験上場期間の満了を迎えますことから、8年にわたる試験上場の集大成として、先物市場が国内農業の産業インフラとして必要不可欠なものであり、決して価格乱高下を誘発するものではないことを広く認識いただけますよう、厳格な市場管理等を通じた安心して利用できる市場運営の継続に努め、改元の年にふさわしい本上場の実現を成し遂げるよう邁進して参ります。

最後になりますが、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、益々のご発展とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成31年 元旦

大阪堂島商品取引所
理事長 岡本 安明